

海外安全対策情報

平成28年1月現在

1. 治安・社会情勢

デトロイト（ミシガン州）、コロンバス（オハイオ州）において侵入盗、窃盗及び自動車盗などの財産犯が前3ヶ月期から引き続き増加しています。今後も屋内で発生が比較的多くみられる盗難事件の増加傾向が続くと予想されます。強盗及び侵入盗に関しては、個人（住宅）における被害の割合が商業施設に対する被害よりも高い傾向があります。貴重品を分散して保管する（身につける）、短い間の外出時でも戸締まりを確実にを行うなど防犯対策をしっかりと講じるようお願いします。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州，オハイオ州）の主要都市及び在留邦人が多数居住している地域の犯罪種別ごとの発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2015年10月1日から同年12月31日。括弧内は前3ヶ月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	加重暴行	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	メトロイト	73 (-8)	12 (-5)	905 (-214)	2037 (-652)	2743 (+196)	4389 (+253)	2237 (+151)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	1 (-2)	35 (-19)	8 (-10)	54 (+22)	52 (+5)
	アナーバー	0 (±0)	15 (-4)	11 (-1)	129 (-17)	88 (-43)	191 (-20)	117 (-117)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	2 (+2)	1 (-1)	25 (+4)	21 (-5)	95 (-15)	46 (-21)
	コロンバス	9 (+6)	5 (+4)	94 (+7)	26 (-23)	208 (+6)	500 (+19)	325 (+97)
	シンシナティ	1 (+1)	10 (-1)	54 (-34)	32 (-15)	96 (-24)	500+	8 (+4)

3. テロ・爆弾事件発生状況

米国内において具体的な情報には接していませんが、国際的に見るとイスラム過激派組織ISILが日本を標的として名指しており、海外のいかなる地域においても日本人がテロに巻き込まれる可能性は否定できません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

なし

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当地における対日感情は良好であり、当該具体的情報には接していません。